

2015⁷月



原水協通信

日本原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

2015年原水爆禁止世界大会の成功を

憲法違反の「戦争法案」を全力で廃案にしよう



広島大会二百人、長崎大会に二百人めざそう

☆2014年広島大会ファイナーレ。2015年NPTの成功を誓い合った大会でした。

2015年NPTニューヨーク行動に大阪から百四十三人が参加し、四月二十六日での一人集会の成功に大きな力を発揮しました。九十三万の署名提出とともに大阪での民主勢力の大きなパワーを世界にアピールしました。この力を「被爆七十年を転換点に」と位置づけられた2015年原水爆禁止世界大会につなげることが求められています。

被爆七十年の 歴史的大会

被爆七十年、日本原水協結成六十年の歴史的な節目となる大会です。日本原水協は、今回の大会を「歴史的大会」と位置づけ「核兵器廃絶の大きな転換点」となる大会にすることを提起。広島大会は一人集会、長崎大会は五千人集会をめざし、例年の二倍の集会規模で準備をすすめています。国連から六月から就任したキム・ウオンス軍縮担当上級代表がパン・ギムン国連事務総長のメッセージを携え参加。先のNPT再検討会議でも核保有国を追い詰めた非同盟運動の中核となっているメキシコ、インドネシア

の政府代表も参加。俳優の宝田明さん歌手クミコさんと多彩な方が参加されます。

参加申し込みが急ピッチですすんでいます

大阪原水協は、宿泊施設予約の関係上、長崎大会を中心に申し込みを受け付けています。新婦人は、広島大会に百四十人目標に全力。西淀川共同センターは広島大会に十五人、長崎大会に二十五人を目標に青年を中心にして参加してもらおうと奮闘中です。大阪自治労連の枚方市職労は、早々と六名を長崎大会に送ろうと決定。参加申し込みの最終日、七月二十四日、午後5時まで各団体の奮闘が続いています。

戦争法案反対、国民平和大行進続く



7月1日、國下和男・藤井寺市長は、「政府が進める安保法制により、紛争やテロに巻き込まれてしまうことが憂慮されています。これまで日本が積み上げてきた平和主義がゆるぐことがないよう、そして国民の生命を最優先にしたさらなる国民的議論が展開される必要があります」と挨拶。

7月2日、和田吉衛・忠岡町長は、「今重要なことは、国会で審議されている安保法制法案です。戦争をすすめる法案だと懸念されています。みなさんの一歩、一歩が核兵器を無くすと同時に日本の平和を守ることに繋がれば良いと願っております」と挨拶されました。



被爆者とともに行進する2015年国民平和大行進でした。7月4日、住吉区在住の被爆者・高木静子さんは、マンションベランダから横断幕を下げ、行進団に連帯のアピールで行進参加者を励ましました。7月5日、寝屋川原爆被害者の会のみなさん5名が行進団の先頭で、寝屋川市内を行進。7月6日、茨木市原爆被害者の会・岩本賢三会長は、「集団的自衛権を合法化し、自衛隊を戦地に。もう一度憲法をじっくり目をとおそうではありませんか」と、訴えました。



全国通し行進者の山口逸郎さん(写真右)、松永洋子さん(写真左)が行進参加者、沿道の市民を激励。山口さんは「83歳ですが、気持ちは38歳です」と元気に挨拶し、先頭でシュプレヒコールを唱和しました。松永さんは、「東京・夢の島を5月6日に出発し、今日で153万歩に達しました」の数字に、参加者はビックリ。91日かけて、8月4日、広島平和公園をめざして歩き続けます。山口さん松永さん、広島・長崎大会でお会いしましょう!



☆沿道の皆さんを励ました11人の府内通し行進者のみなさん

**「海外代表と語ろう！
ピースINおおさか」**
○8月1日(土)午後1
時～ 大阪グリーン会
館 アメリカ他2地域
新幹線切符渡します